

殺菌剤



登録番号 第18821号
性 状 類白色水和性粉末 45μm以下
有効期限 5年
毒 性 普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
包 装 (100g×25袋) × 4箱、500g×20袋

日曹の農薬

有効成分 イミノクタジナルベシル酸塩 40.0%
種 類 名 イミノクタジナルベシル酸塩水和剤
殺菌剤分類 M7

- 特 長
- 1. 幅広い抗菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果を発揮します。
 - 2. 作物に対する安全性が高く、登録作物が多いため使いやすい薬剤です。
 - 3. 細胞膜に作用し、膜機能や脂質生合成を阻害します。また、他剤と作用点が異なるため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。



製品ページはこちら

■適用病害名及び使用方法

(2025 年 11 月 26 日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	イミノクタジン 含む農薬の 総使用回数	使用方法
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病	2,000	200～ 700	収穫前日 まで	2回以内	2回以内	散布
	そうか病						
	貯蔵病害(緑かび病)				5回以内 (塗布剤は2回以内、 液剤は1回以内)		
	貯蔵病害(青かび病)						
みかん	灰色かび病	1,000～ 2,000		収穫14日 前まで	5回以内	3回以内 (塗布剤は2回以内、 液剤は1回以内)	
	そうか病						
	貯蔵病害(緑かび病)						
	貯蔵病害(青かび病)						
なし	黒斑病	1,000～ 1,500		収穫7日 前まで	3回以内	3回以内	無人航空機 による散布
	黒星病						
	輪紋病						
	うどんこ病						
びわ	灰斑病	1,000	4				
	灰色かび病						
	灰斑病	10					
	灰色かび病						
りんご	黒星病	1,000～ 2,000	200～ 700	収穫前日 まで	6回以内 (但し、 開花期以降 散布は 3回以内)	8回以内 (液剤及び水和剤 は合計6回以内 (開花期以降 は3回以内)、 塗布剤は2回以内)	散布
	斑点落葉病						
	輪紋病	1,000～ 1,500					
	褐斑病						
	すす点病						
	すす斑病						
	黒点病						
	うどんこ病						
	黄腐病	1,000					
	モニリア病						
小粒核果類 (うめ、すもも を除く)	黒星病	2,000		収穫30日 前まで	3回以内	3回以内	
	灰星病						
	灰色かび病						
	環紋葉枯病						
	すす斑病						

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	イミノクタジン 含む農薬の 総使用回数	使用方法
もも	黒星病	2,000	200～ 700	収穫前日 まで	3回以内	3回以内 (休眠期は 1回以内)	散布
	灰星病	1,000～ 2,000					
	ホモプシス腐敗病						
	うどんこ病						
	すすかび病						
	果実赤点病						
うめ	黒星病	2,000		収穫30日 前まで		3回以内	
	灰星病						
	灰色かび病						
	環紋葉枯病						
	すす斑病						
	枝枯病						
すもも	灰星病	1,000～ 2,000		収穫3日 前まで			
おうとう		1,000		収穫7日 前まで			
あけび(果実)	うどんこ病	3,000		収穫14日 前まで	2回以内	2回以内	
かき	炭疽病	1,000～ 1,500			3回以内	3回以内	
	落葉病						
	うどんこ病						
	灰色かび病						
	すす点病						
	黒星病						
キウイフルーツ	果実軟腐病	1,000		収穫前日 まで	5回以内	5回以内	
	灰色かび病						
	貯蔵病害(灰色かび病)						
マンゴー	炭疽病			収穫14日 前まで	2回以内	2回以内	
ばれいしょ	夏疫病	500	100～ 300	収穫7日 前まで	5回以内	5回以内	
やまのいも	葉渋病	1,000～ 2,000				5回以内 (種いもへの 処理は1回以内、 無人航空機散布 は3回以内)	種いも粉衣
	青かび病	－	種いも 重量の1%	植付前	1回		
にんじん	菌核病	1,000	100～ 300	収穫14日 前まで	5回以内	5回以内 (種子粉衣は1回 以内、無人航空機 散布は2回以内)	散布
	黒葉枯病	500～ 1,000					
		－		乾燥種子 重量の0.5%	は種前		
たまねぎ	灰色かび病	1,000	100～ 300	収穫前日 まで	5回以内	5回以内	散布
	灰色腐敗病						
	小菌核病						

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	イミノクタジン 含む農薬の 総使用回数	使用方法
にんにく	葉枯病	1,000～ 1,500	100～ 300	収穫3日 前まで	3回以内	3回以内	散布
ねぎ	さび病	2,000		収穫30日 前まで			
	黒斑病						
豆類 (種実、ただし、 だいずを除く)	うどんこ病	1,000		収穫7日 前まで			
	炭疽病						
	褐斑病	2,000					
きゅうり	うどんこ病	2,000～ 4,000		収穫前日 まで	7回以内	7回以内	
	灰色かび病						
	炭疽病						
ズッキーニ		2,000					
かぼちゃ	うどんこ病	1,000～ 2,000		収穫7日 前まで	4回以内	4回以内	
すいか	つる枯病	1,000		収穫前日 まで			
	菌核病						
	炭疽病						
うり類(漬物用)	うどんこ病	2,000～ 4,000		収穫3日 前まで	5回以内	5回以内	
	つる枯病						
	炭疽病						
メロン	うどんこ病	1,000		収穫前日 まで			
	つる枯病						
トマト	葉かび病	3,000～ 6,000			3回以内	3回以内	
	灰色かび病						
ミニトマト	葉かび病	6,000			2回以内	2回以内	
	灰色かび病						
なす	すすかび病	3,000			3回以内	3回以内	
	灰色かび病						
	うどんこ病						
キャベツ	菌核病	1,000		収穫14日 前まで			
レタス	灰色かび病	1,000～ 2,000					
	菌核病						
アスパラガス	茎枯病	1,000	100～ 500	収穫7日 前まで	5回以内	5回以内	
	斑点病						
	褐斑病						
いちご	炭疽病	4,000	100～ 300	育苗期 (定植前)	5回以内	10回以内 (育苗期は5回以内、 本圃では5回以内)	
	うどんこ病			収穫前日 まで (生育期)			5回以内

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	イミノクタジン 含む農薬の 総使用回数	使用方法
茶	炭疽病	1,000	200～ 400	摘採7日 前まで	2回以内	2回以内	散布
	輪斑病						
	新梢枯死症 (輪斑病菌による)						
樹木類	炭疽病		200～ 700	発病初期	3回以内	3回以内	
たばこ	赤星病	1,000～ 2,000	100～ 180	収穫10日 前まで	2回以内	2回以内	
	うどんこ病						
	灰色かび病						

効果・薬害などの注意

1. 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
2. りんごに使用する場合、芽出し 2 週間過ぎから落花後 25 日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
3. なしに使用する場合、西洋なし品種ル レクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
4. ももに使用する場合、缶桃 14 号等の缶詰用品種では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
5. 本剤をおうとうに使用する場合、着色始期から中期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないでください。
6. かきに使用する場合、西村早生では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
7. メロンに使用する場合、交配 2 ～ 3 日前から交配 2 週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意してください。
8. キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると、薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当たっては事前にその適否を確認してください。
9. ばらに対して薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。
10. 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
11. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
12. 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を遵守してください。
 - (1) 散布機種 of 散布基準に従って行ってください。
 - (2) 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - (3) 散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - (4) 散布薬液の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
13. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
14. 使用量に合わせ薬液を調製し、速やかに使いきってください。
15. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて本剤を使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。



安全使用上の注意



16. 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
17. 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
18. 使用の際は保護眼鏡、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
19. 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

● 水産動植物への影響

水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 保管上の注意

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。

●小児の手の届く所には、置かないでください。●空容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
